



連結業績の概要 2016年度第2四半期

2016年10月28日

ジェームス・キーホー

チーフ フィナンシャル オフィサー

武田薬品工業株式会社



重要な注意事項

将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予想する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含まれます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。



戦略フォーカスによる力強い上期実績：

実質的な売上収益 +7.4%、Core Earnings +12.7%、Core EPS +49.3%

財務ベースは力強い上期利益実績

- 売上収益は5.9%の減収、為替影響 ($\Delta 8.6\text{pt}$) および事業等の売却影響 ($\Delta 4.7\text{pt}$) による
- 営業利益は46.7%の増益、実質的な成長およびテバ社との合併会社に係る事業譲渡益が事業等の売却影響と減損損失の影響を吸収
- EPSは前年同期69円から2倍以上増加し159円
- 営業フリー・キャッシュ・フローは560億円 から750億円に増加

実質ベースの上期実績は想定以上

- 売上収益は+7.4%の増収、成長ドライバーが15年度の+9.5%から+15.3%に加速
- Core Earningsは+12.7%の増益、売上収益比率が+0.7pt上昇
- Core EPSは+49.3%増加、Core Earningsの力強い成長と税金費用の減少を反映



力強い上期実績によりマネジメントガイダンスと公表予想を増益修正

マネジメントガイダンス(実質ベース)

- 好調な実績を踏まえ、年間の利益ガイダンスを引き上げ
- Core Earningsの年間ガイダンスは「10%台半ばから後半の成長」に上方修正
- Core EPSは「10%台前半から半ばの成長」の範囲で高い水準の成長を見込む

公表予想(財務ベース)

- 売上収益は16,700億円に下方修正、為替のマイナス影響を実質的な成長で一部吸収
- 当期利益およびEPSの年間予想を5月の当初公表予想から+3.4%引き上げ
- 営業利益は当初公表予想を維持、研究開発体制の変革にかかる導入費用の前倒し(17年度から16年度に150億円*)と為替のマイナス影響を吸収
- 株主還元強くコミット、配当が重要な還元策



損益計算書（財務ベース）

EPSは2倍以上増加し159円、Core EPSは前年同期を上回る

(億円)	15年度上期	16年度上期	増減	
売上収益	9,040	8,508	△532	△ 5.9%
売上総利益	6,466	5,739	△727	△ 11.2%
率	71.5%	67.5%		△ 4.1pt
販売費及び一般管理費	△3,135	△2,909	+226	△ 7.2%
研究開発費	△1,582	△1,520	+63	△ 4.0%
Core Earnings	1,749	1,310	△439	△ 25.1%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△646	△757	△110	+ 17.1%
その他の営業収益/費用	2	1,067	+1,066	NA
営業利益	1,104	1,621	+516	+ 46.7%
率	12.2%	19.0%		+6.8pt
金融収益/費用	△94	△62	+32	△ 33.8%
持分法による投資損益	10	△9	△18	NA
税引前当期利益	1,020	1,550	+530	+ 51.9%
法人所得税費用	△461	△294	+166	△ 36.1%
非支配持分	△16	△13	+3	△ 18.4%
当期利益	544	1,243	+699	+ 128.6%
EPS	69 円	159 円	+ 90 円	+ 129.4%
Core EPS	138 円	139 円	+ 2 円	+ 1.2%



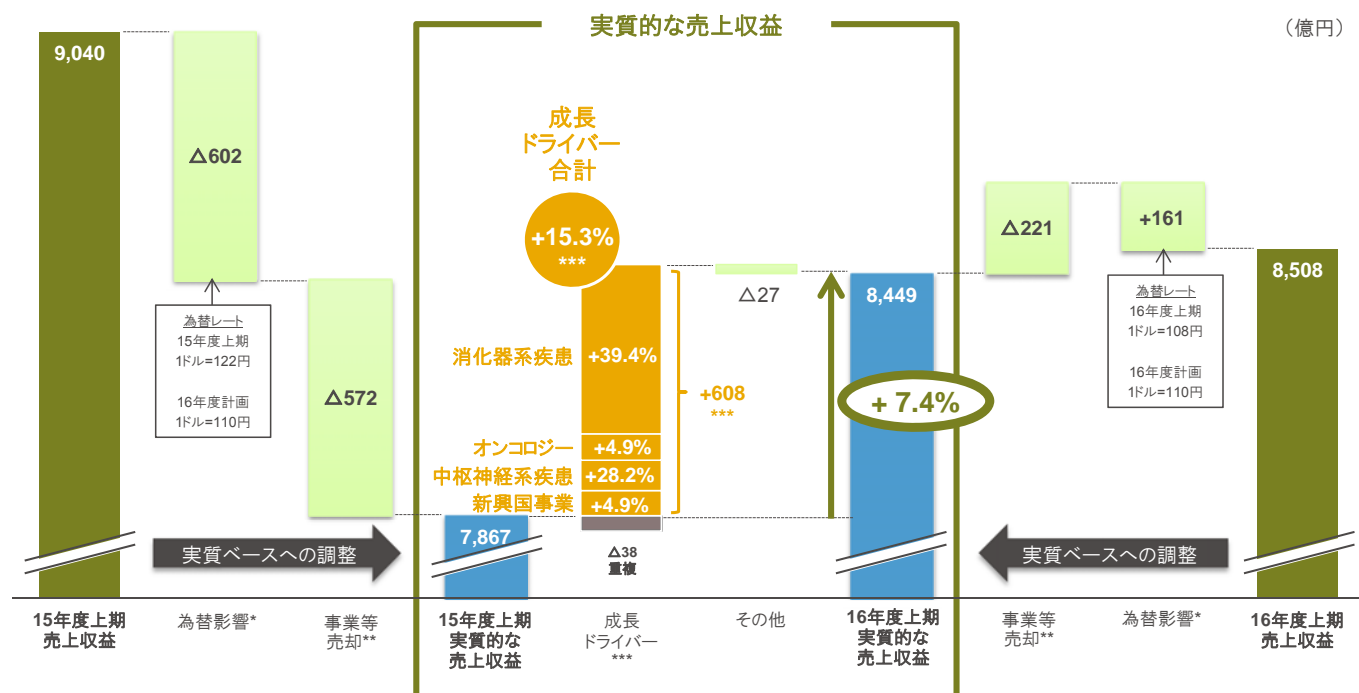
損益計算書（実質ベース）

売上収益+7.4%、Core Earnings+12.7%、Core EPS+49.3%

(億円)	15年度上期	16年度上期	増減	
実質的な売上収益	7,867	8,449	+581	+ 7.4%
実質的な売上総利益	5,462	5,767	+305	+ 5.6%
率	69.4%	68.3%		△ 1.2pt
販売費及び一般管理費	△ 2,889	△ 2,981	△92	+ 3.2%
研究開発費	△ 1,477	△ 1,551	△74	+ 5.0%
実質的なCore Earnings	1,096	1,235	+139	+ 12.7%
率	13.9%	14.6%		+ 0.7pt
金融収益/費用	9	△ 22	△32	NA
持分法による投資損益	9	5	△4	△ 44.7%
実質的なCore税引前当期利益	1,114	1,218	+104	+ 9.3%
法人所得税費用	△ 419	△ 190	+229	△ 54.7%
非支配持分	△ 15	△ 13	+2	△ 15.2%
実質的なCore当期利益	680	1,015	+335	+ 49.3%
実質的なCore EPS	87 円	130 円	+ 43 円	+ 49.3%



実質的な売上収益は+7.4%の増収 +15.3%の成長ドライバーが牽引



* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円等)を適用し影響額を算出しています。

** 主に日本の長期収載品、呼吸器系疾患領域の製品、肥満症治療剤コントレブにかかる売却影響を表示しています。詳細はAppendixをご参照ください。

*** 全体成長率は、消化器系疾患、オンコロジー、中枢神経系疾患、新興国事業の売上合計から重複を排除して算出しています(例:新興国事業とオンコロジーにおけるアドセトリス等)。詳細はAppendixをご参照ください。



成長ドライバーは+15.3%の力強い伸長

実質的な売上成長

	16年度上期 (億円)	対前期	
消化器系疾患*	1,535	+39.4%	
オンコロジー**	1,677	+4.9%	
中枢神経系疾患	328	+28.2%	
新興国事業*	1,308	+4.9%	
成長ドライバー***	4,583	+15.3%	タケダ連続売上成長ドライバー比率 54%

* 新興国でのバントプラソールの売上は、新興国での主力製品であるため新興国事業に含め、消化器系疾患(GI)には含めておりません。その他の地域でのバントプラソールの売上はこのスライド中には含まれておりません。

** ベルケイトのロイヤリティおよびその他の収益を除いたオンコロジーの実質的な成長率は+6.4%です。

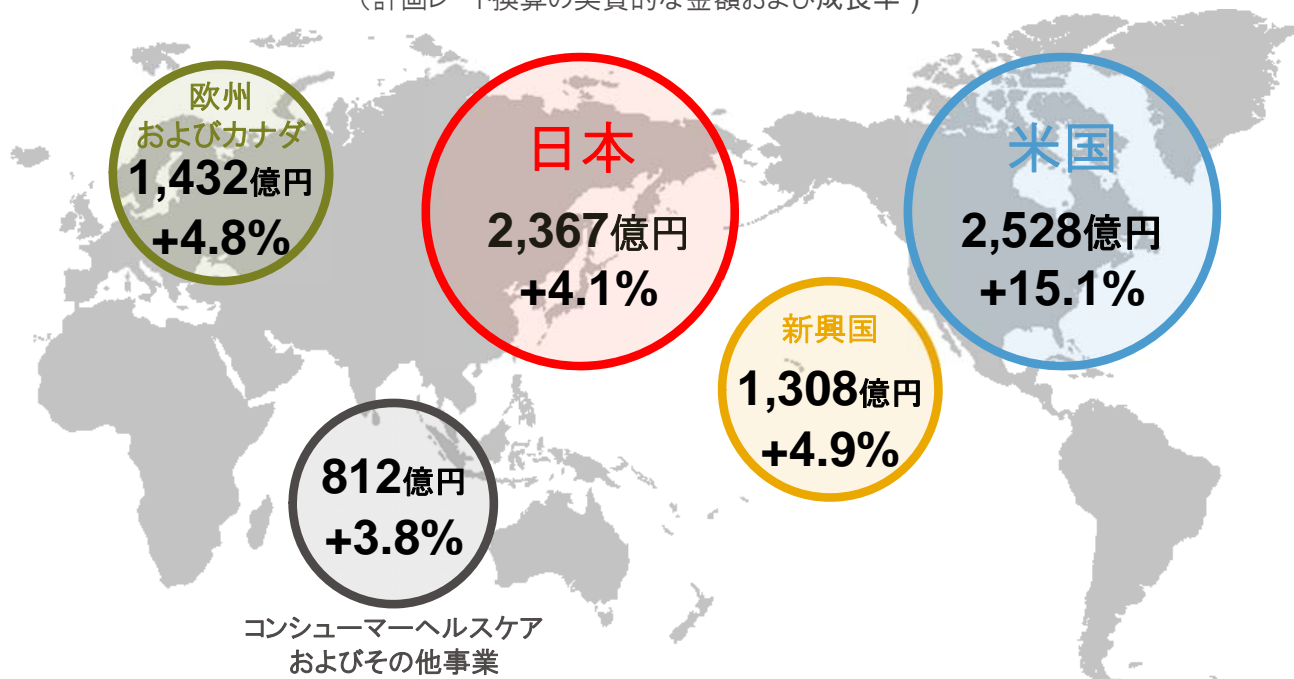
*** 全体成長率は、消化器系疾患、オンコロジー、中枢神経系疾患、新興国事業の売上合計から重複を排除して算出しています。(例:新興国事業とオンコロジーにおけるアドセトリス等)



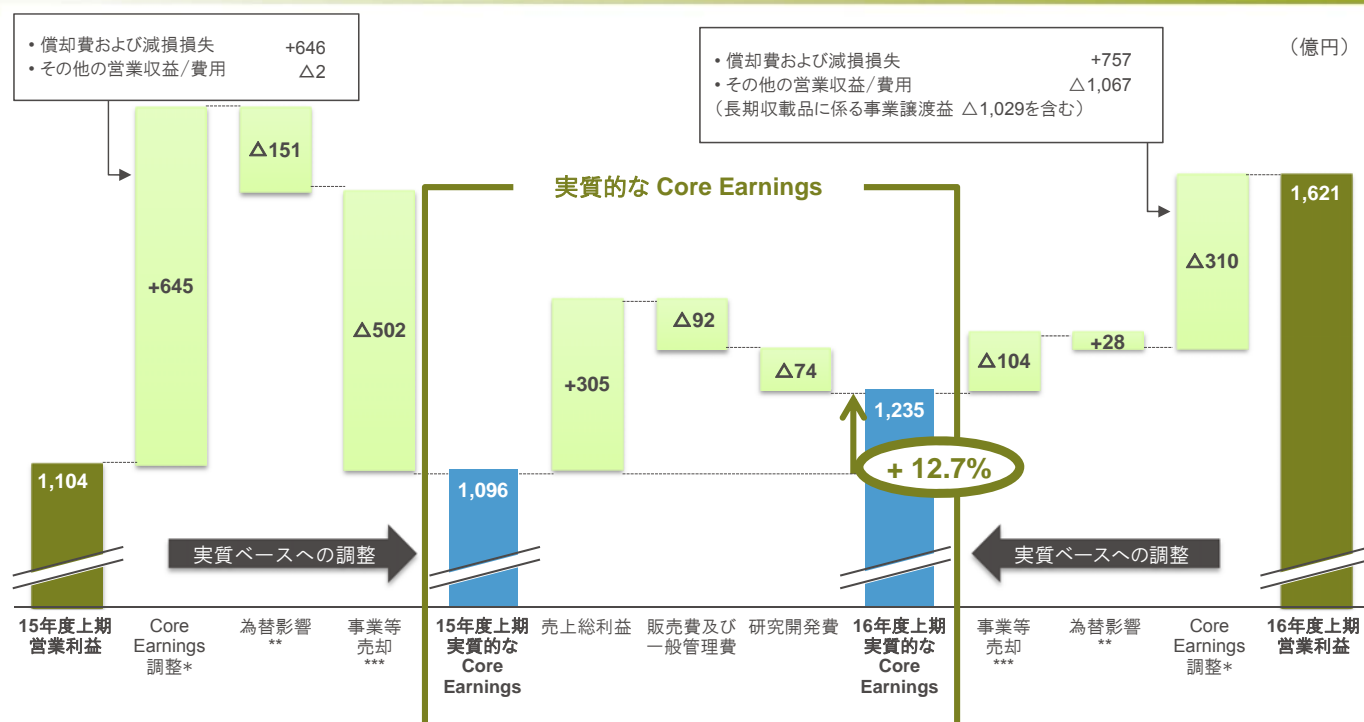
2桁台の成長を続ける米国をはじめとして全ての地域で成長

実質的な売上収益 16年度上期 連結合計: 8,449億円、+7.4%

(計画レート換算の実質的な金額および成長率)



実質的なCore Earningsは+12.7%の成長

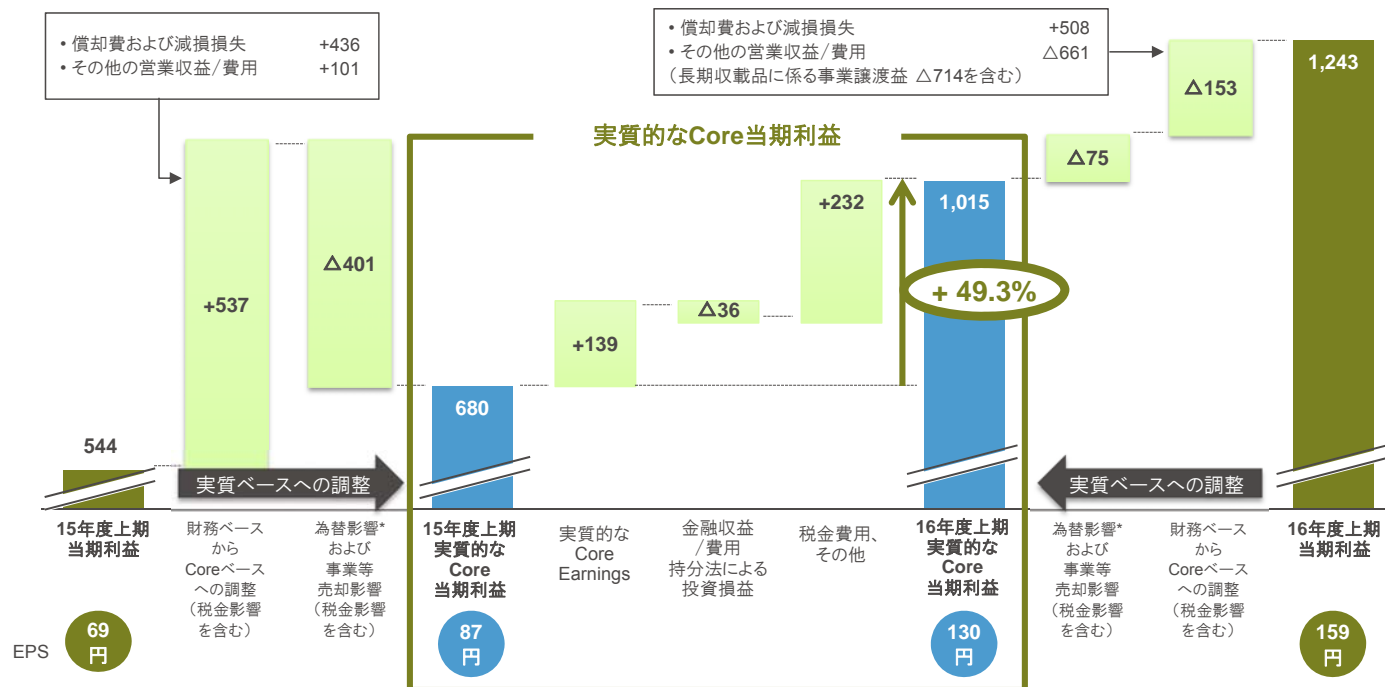


* 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載している調整表をご参照ください。
 ** 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円等)を適用し影響額を算出しています。
 *** 主に日本の長期収載品、呼吸器系疾患領域の製品、肥満症治療剤コントレップにかかる売却影響を表示しています。



実質的なCore当期利益/EPSは+49.3%の成長、 Core Earningsの成長と税金費用の減少要因が上期に発生

(億円)



* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円 等)を適用し影響額を算出しています。



営業フリー・キャッシュ・フローは 15年度上期557億円から16年度上期746億円に増加

(億円)	15年度上期	16年度上期	増減	
当期利益	560	1,256	+696	+124.4%
減価償却費、償却費及び減損損失	950	1,063	+113	
運転資本増減(△は増加)	△ 583	△ 282	+301	
法人税等の支払額	△ 139	△ 47	+92	
その他	161	△ 873	△ 1,034	
営業活動によるキャッシュ・フロー	950	1,118	+168	+17.7%
有形固定資産の取得	△ 238	△ 273	△ 35	
無形固定資産の取得	△ 155	△ 99	+56	
営業フリー・キャッシュ・フロー	557	746	+189	+34.0%

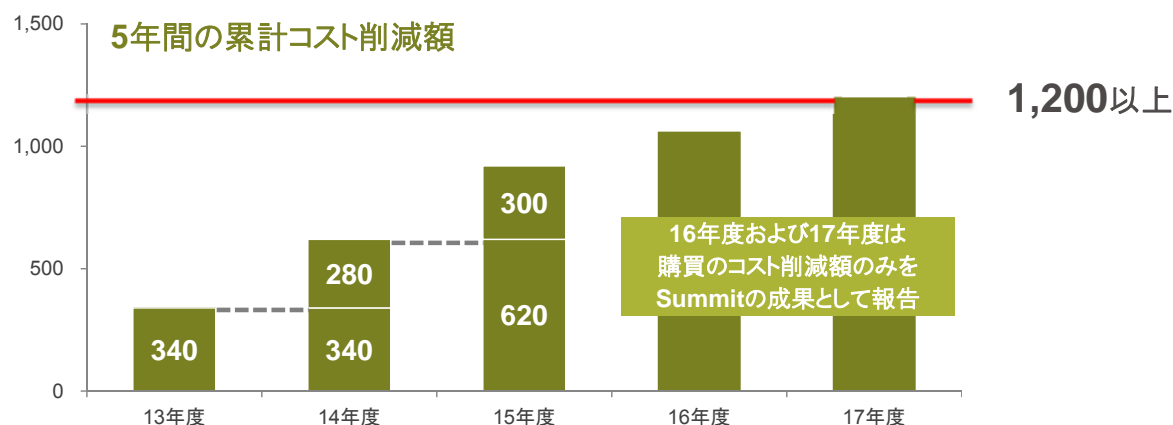


Project Summitは計画を上回る進捗

	13-15年度 (累計)	16年度上期 (実績)	13-17年度 (累計目標)
コスト削減額	920	80*	1,200以上
導入一時費用	690	60	1,000上限

(億円)

* 16年度上期コスト削減額内訳: 20% コマーシャル、37% R&D、18% 製造・供給、26% 一般管理



実質的なCore Earningsのガイダンスを上方修正、 実質的なCore EPSはガイダンスの範囲で高水準の成長見込み

FY2016 マネジメントガイダンス

	前回公表ガイダンス 2016年5月10日	今回公表ガイダンス 2016年10月28日
実質的な売上収益	1桁台半ばの成長 (%)	1桁台半ばの成長 (%)
実質的な Core Earnings	10% 台前半から半ばの成長 (%)	10% 台半ばから後半の成長 (%)
実質的な Core EPS	10% 台前半から半ばの成長 (%)	10% 台前半から半ばの成長 (%)
1株当たり年間配当金	180円	180円



研究開発体制の変革にかかる導入費用の前倒し影響は 営業増益で吸収、当期利益およびEPS予想は上方修正

年間公表予想

(億円)	16年度 前回公表予想 2016年5月10日	16年度 今回公表予想 2016年10月28日	増減		
売上収益	17,200	16,700	△500	△2.9%	▪ 為替影響: △680億円
研究開発費	△3,250	△3,100	150	△4.6%	▪ 為替影響: +140億円
営業利益	1,350	1,350	-	-	▪ 研究開発体制の変革にかかる 導入費用+150億円は力強い 実質的な成長で吸収
税引前当期利益	1,325	1,325	-	-	
当期利益	880	910	30	+3.4%	▪ 当期利益およびEPSは3.4%増加
EPS	112 円	116 円	4 円	+3.4%	
換算レート (年間平均レート)	円/ドル 円/ユーロ	110 125	104 117	△6 △8	▪ 下期前提レート: ドル101円、 ユーロ 113円

- 研究開発体制の変革にかかる導入費用の総額見込みは750億円から変更ありません。現時点において、16年度に400億円、17年度に350億円の発生を見込んでいます。
- 無形資産の償却費および減損損失(条件付対価の取崩しとの純額)は、為替の影響により100億円減少の1,300億円を見込んでいます。
- テバ社との合併会社にかかる16年度影響額: 売上収益 約100億円、長期収載品に係る事業譲渡益 1,029億円、持分法による投資損益およびその他営業収益 約100億円、税引前当期利益 約1,200億円(一時的な事業譲渡益を除くと約200億円)



戦略フォーカスによる力強い上期実績と 年間の利益予想の増益修正

- 実質ベースの上期実績は想定以上
 - 売上収益 +7.4%
 - Core Earnings +12.7%
 - Core EPS +49.3%
 - 営業フリー・キャッシュ・フロー +34.0%
- 力強い上期実績によりマネジメントガイダンスと公表予想を増益修正
 - Core Earnings(実質ベース)の年間ガイダンスは「10%半ばから後半の成長」に引き上げ
 - Core EPS(実質ベース)はガイダンスの範囲で高い水準の成長を見込む
 - 当期利益およびEPS(財務ベース)の年間予想を3.4%引き上げ、
研究開発体制の変革にかかる導入費用の前倒しと為替のマイナス影響を吸収



Appendix

武田薬品工業株式会社



Coreと「実質的な成長」の定義

Coreの概念

Core Earningsは、売上総利益から、販売費及び一般管理費、および、研究開発費を控除して算出します。さらに、non-coreの性質で金額の大きい影響を調整します。ここには、自然災害の影響、企業買収に係る会計処理の影響、主な訴訟費用、事業構造再編費用、政府による法令変更の影響などが含まれます。説明責任及び信頼性を保証するため、これらを控除する際の金額基準は「10億円以上」と高く設定しています。

Core EPSの算出にあたっては、Core Earningsから、営業利益以下の各科目のうち、non-coreの性質で金額の大きい影響(10億円以上)を調整します。ここには、条件付対価に係る公正価値変動影響などが含まれます。さらに、これらにかかる税金影響に加え、上記のCore Earnings調整にかかる税金影響を合わせて調整します。

実質的な成長

実質的な成長とは、持続的な事業活動のパフォーマンスを実質的に把握する目的で、当期と前年同期(四半期あるいは年間)の業績を共通の基準で比較するものです。このため、各期間を共通の為替レートで換算し、また、事業等の売却影響を調整します。

共通の為替レート: グローバルに事業を展開している当社の業績は、様々な通貨の為替レート変動による影響を受けます。従って、異なる期間の業績比較は、換算に使用する為替レートの違いにより歪みが生じることがあります。このため、為替変動による影響を排除して業績の比較を容易にし、実質的な成長を把握するため、共通の為替レート(CER: Constant Exchange Rates)を異なる期間それぞれに適用します。これには通常、当期の計画レートを使用します。



成長ドライバー

武田薬品工業株式会社



消化器系疾患、オンコロジーおよび中枢神経系疾患の成長ドライバー（実質的な売上成長）

実質的な売上成長			実質的な成長	
	15年度 上期	16年度 上期		
エンティビオ	327	674	+347	+106.4%
タケキャブ	20	139	+118	NA
デクスラント	318	323	+5	+1.6%
アミティーザ	173	172	△0	△0.2%
ランソプラゾール*	263	226	△37	△14.0%
消化器系疾患	1,101	1,535	+434	+39.4%
ニンラーロ	—	131	+131	NA
アドセトリス	126	149	+24	+18.7%
ベクティビックス	95	95	+0	+0.4%
リュープロレリン	604	593	△11	△1.9%
ベルケイド	773	709	△65	△8.4%
オンコロジー	1,598	1,677	+79	+4.9%
トリンテリックス**	101	146	+45	+44.2%
ロゼレム	75	92	+17	+22.7%
レミニール	79	88	+8	+10.1%
コパキソン	—	2	+2	NA
中枢神経系疾患	256	328	+72	+28.2%

* 日本におけるランソプラゾール(国内製品名:タケブロン)の単剤は16年度にテバ社との合弁会社へ移管されたため15年度の売上収益を調整しています。

** 「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」から変更して販売しています。



消化器系疾患、オンコロジーにおける成長ドライバー (製品プロファイル)

消化器系疾患における成長ドライバー*

製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1 ランソプラゾール	1992/12	プロトンポンプ阻害薬	消化性潰瘍
2 アミティーザ	2006/4	クロライドチャンネル開口薬	慢性特発性便秘症
3 デクスラント	2009/2	プロトンポンプ阻害薬	酸関連疾患
4 エンティピオ	2014/6	ヒト化抗 $\alpha 4\beta 7$ インテグリンモノクローナル抗体	潰瘍性大腸炎、クローン病
5 タケキャブ	2015/2	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー	酸関連疾患

オンコロジーにおける成長ドライバー

製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1 リュープロレリン	1985/5	LH-RH アゴニスト	前立腺がん
2 ベルケイド	2008/5	プロテアソーム阻害薬	多発性骨髄腫
3 ベクティビックス	2010/6	ヒト型抗EGFRモノクローナル抗体	進行・再発の結腸・直腸がん
4 アドセトリス	2012/11	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体	再発・難治性のホジキンリンパ腫
5 ニンラーロ	2015/12	経口プロテアソーム阻害薬	多発性骨髄腫

*パントプラゾールは、新興国での主力製品であるため新興国事業に含め、消化器系疾患 (GI) には含めない。
**世界市場において当社が最初に発売を開始した年月を表示。



中枢神経系疾患における成長ドライバー (製品プロファイル)

中枢神経系疾患における成長ドライバー

製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1 ロゼレム	2005/9	MT ₁ /MT ₂ 受容体作動薬	不眠症
2 レミニール	2011/3	アセチルコリンエステラーゼ阻害・ニコチン性アセチルコリン受容体増強薬	アルツハイマー型認知症
3 トリンテリックス*	2014/1	多重作用メカニズム型抗うつ薬	大うつ病
4 コパキソン	2015/11	免疫調整薬	多発性硬化症の再発予防

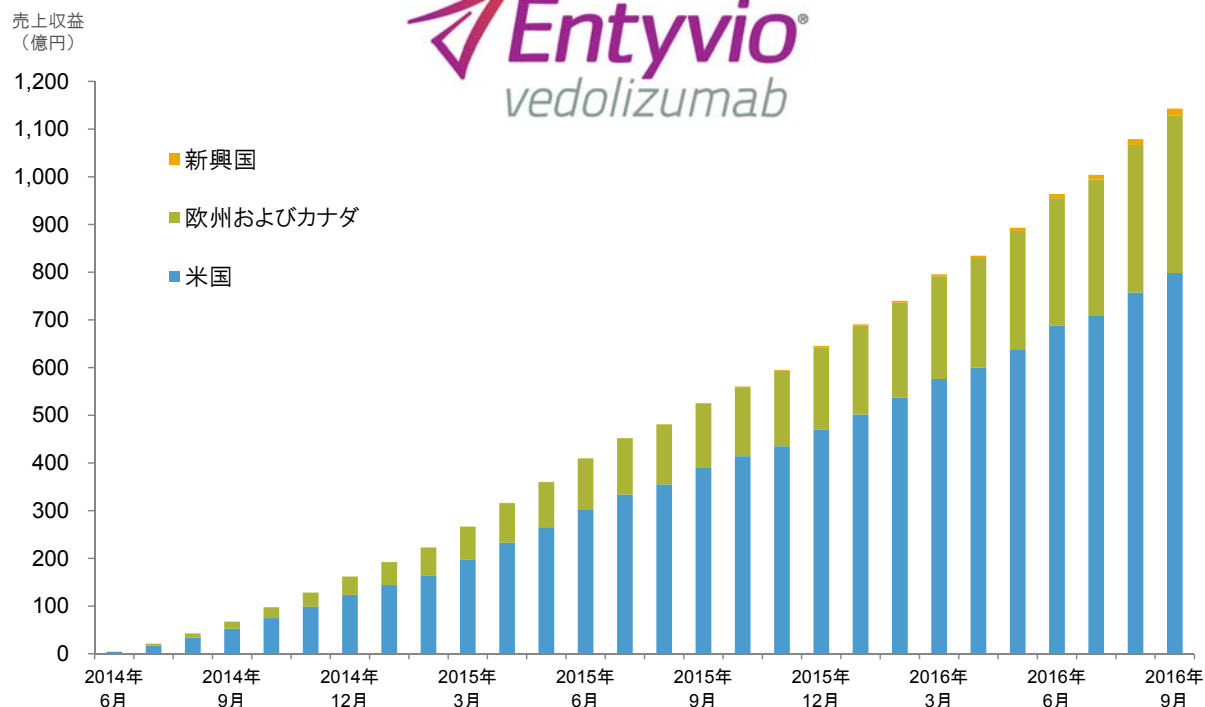
*「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」から変更して販売。
**世界市場において当社が最初に発売を開始した年月を表示。



エンティビオ®は10億ドルの売上 (MAT*) を達成 2018年度中に20億ドルを超える売上 (MAT) に向け順調に進捗



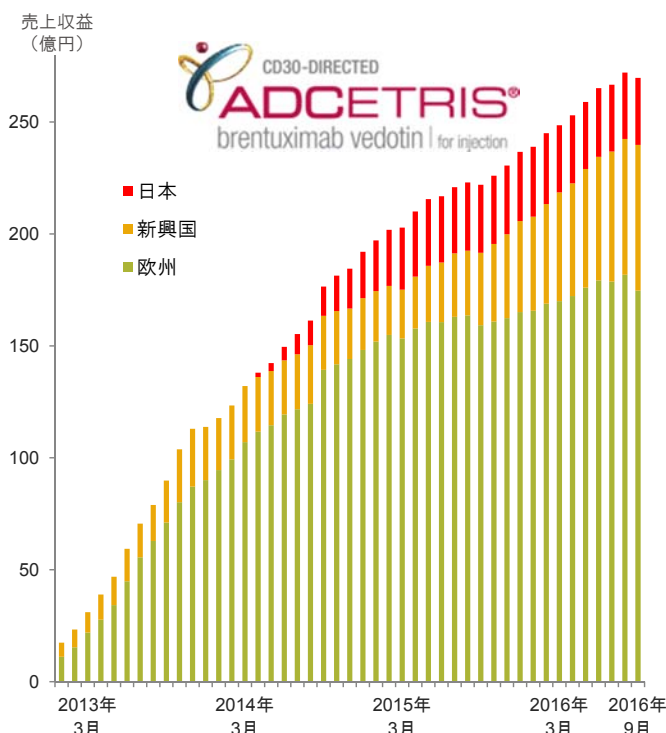
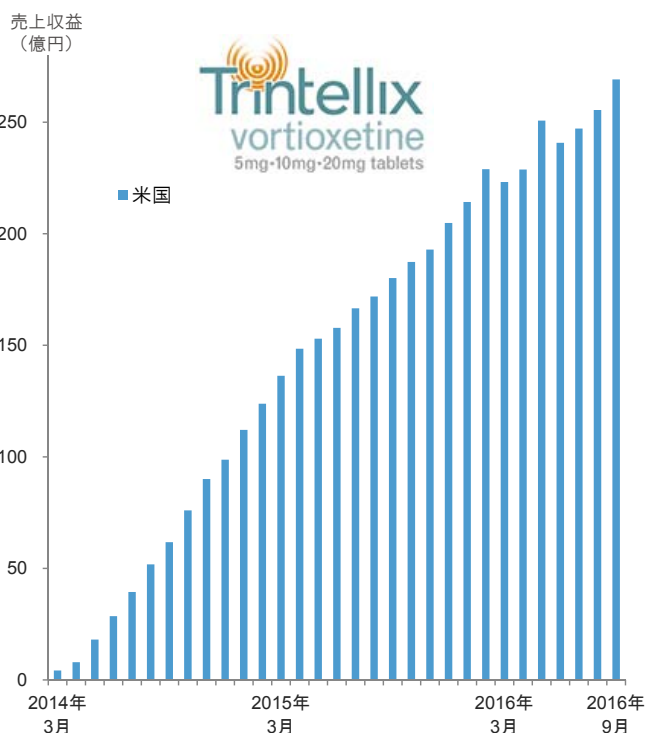
同一為替レート換算のMAT*(Moving Annual Total(移動通年合計))売上収益



トリンテリックス®とアドセトリス®は引き続き力強く伸長

(注)「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」から変更して販売

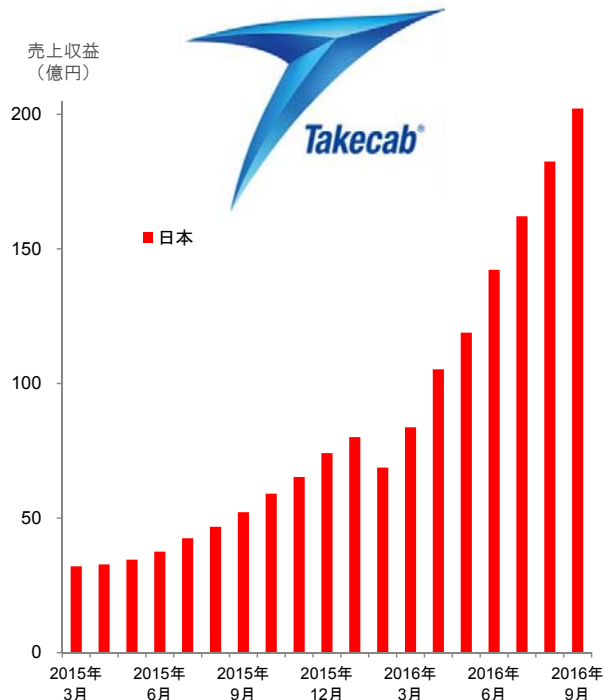
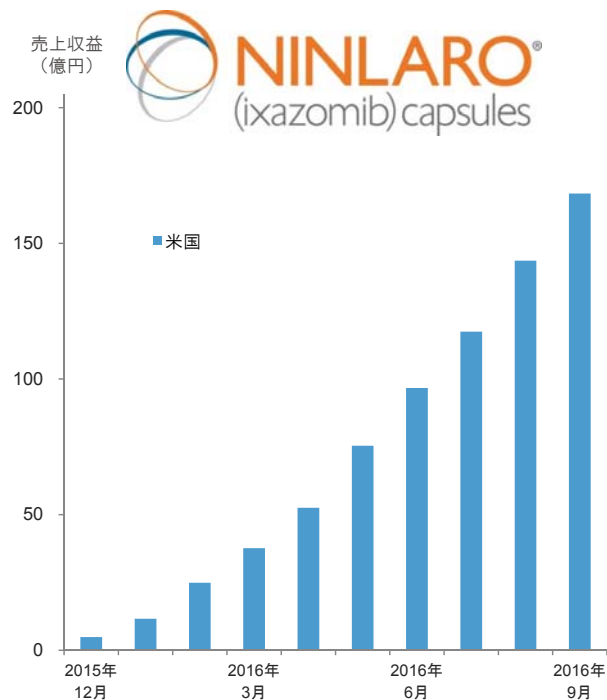
同一為替レート換算のMAT*(Moving Annual Total(移動通年合計))売上収益





ニンラーロ®とタケキャブ®の良好な立ち上がり

同一為替レート換算のMAT*(Moving Annual Total(移動通年合計))売上収益



損益計算書



損益計算書(財務ベース)〔上期〕

(億円)	15年度 上期	16年度 上期	増減	
売上収益	9,040	8,508	△532	△ 5.9% ^{*1}
売上総利益	6,466	5,739	△727	△ 11.2%
率	71.5%	67.5%		△ 4.1pt ^{*2}
販売費及び一般管理費	△3,135	△2,909	+226	△ 7.2%
研究開発費	△1,582	△1,520	+63	△ 4.0%
Core Earnings	1,749	1,310	△439	△ 25.1%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△646	△757 ^{*3}	△110	+ 17.1%
その他の営業収益/費用	2	1,067 ^{*3,4}	+1,066	NA
営業利益	1,104	1,621	+516	+ 46.7%
率	12.2%	19.0%		+6.8pt
金融収益/費用	△94	△62	+32	△ 33.8%
持分法による投資損益	10	△9	△18	NA
税引前当期利益	1,020	1,550	+530	+ 51.9%
法人所得税費用	△461	△294 ^{*5}	+166	△ 36.1%
非支配持分	△16	△13	+3	△ 18.4%
当期利益	544	1,243	+699	+ 128.6%
EPS	69 円	159 円	+ 90 円	+ 129.4%
Core EPS	138 円	139 円	+ 2 円	+ 1.2%

*1 為替影響(△8.6pt)と事業等の売却影響(△4.7pt)による減収を実質的な成長で一部吸収

*2 為替影響(△1.3pt)、事業等の売却影響(△1.6pt)および製品価格・構成の変動影響(△1.2pt)により、売上総利益率は4.1pt減少

*3 コルクリスに係る減損損失(140億円)および条件付対価の取崩益(97億円)

*4 テバ社との合併会社への長期収載品事業移管に係る事業譲渡益(1,029億円)

*5 国内の税制改正影響、子会社の減資に伴う税金費用影響、Earning Mix(利益構成)、未払法人所得税の見直し



損益計算書(財務ベース)〔第2四半期〕

(億円)	15年度 第2四半期	16年度 第2四半期	増減	
売上収益	4,578	4,168	△410	△ 8.9%
売上総利益	3,215	2,753	△461	△ 14.4%
率	70.2%	66.1%		△4.2pt
販売費及び一般管理費	△1,518	△1,460	+58	△ 3.8%
研究開発費	△784	△754	+30	△ 3.8%
Core Earnings	912	539	△373	△ 40.9%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△308	△472	△163	+ 53.0%
その他の営業収益/費用	5	24	+19	NA
営業利益	609	91	△517	△ 85.0%
率	13.3%	2.2%		△11.1pt
金融収益/費用	△77	△33	+44	△ 57.2%
持分法による投資損益	2	△5	△6	NA
税引前当期利益	533	53	△480	△ 90.0%
法人所得税費用	△228	199	+427	NA
非支配持分	△8	△5	+3	△ 35.0%
当期利益	298	248	△50	△ 16.9%
EPS	38 円	32 円	△ 6 円	△ 16.6%
Core EPS	73 円	68 円	△ 4 円	△ 5.8%



損益計算書(実質ベース)〔第2四半期〕

(億円)	15年度 第2四半期	16年度 第2四半期	増減	
実質的な売上収益	3,986	4,213	+227	+ 5.7%
実質的な売上総利益	2,716	2,843	+126	+ 4.7%
率	68.2%	67.5%		△0.7pt
販売費及び一般管理費	△ 1,403	△ 1,536	△133	+ 9.5%
研究開発費	△ 731	△ 791	△61	+ 8.3%
実質的なCore Earnings	583	515	△68	△ 11.6%
率	14.6%	12.2%		△2.4pt
金融収益/費用	3	△ 16	△19	NA
持分法による投資損益	1	3	+2	NA
実質的なCore税引前当期利益	586	502	△84	△ 14.4%
法人所得税費用	△ 221	22	+242	NA
非支配持分	△ 7	△ 5	+2	△ 31.9%
実質的なCore当期利益	358	519	+161	+ 44.9%
実質的なCore EPS	46 円	66 円	+ 20 円	+ 44.9%



財務ベースから実質ベースへの調整



売上収益から実質的な売上収益への調整

			増減				(億円)	
	15年度 第2四半期	16年度 第2四半期			15年度 上期	16年度 上期		増減
売上収益	4,578	4,168	△410	△ 8.9%	9,040	8,508	△532	△ 5.9%
為替影響*	△ 314	179		+10.9pt	△ 602	161		+8.6pt
為替影響*除き売上収益	4,263	4,347	+84	+ 2.0%	8,439	8,669	+230	+ 2.7%
事業等の売却影響**	△ 278	△ 135		+3.7pt	△ 572	△ 221		+4.7pt
実質的な売上収益	3,986	4,213	+227	+ 5.7%	7,867	8,449	+581	+ 7.4%

* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円 等)を適用し影響額を算出しています。

** 主に日本の長期収載品、呼吸器系疾患領域の製品、肥満症治療剤コントレブにかかる売却影響を表示しています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載している調整表をご参照ください。



営業利益から実質的なCore Earningsへの調整

			増減				(億円)	
	15年度 第2四半期	16年度 第2四半期			15年度 上期	16年度 上期		増減
営業利益	609	91	△517	△ 85.0%	1,104	1,621	+516	+ 46.7%
無形資産の償却費および減損損失	308	472	+163		646	757	+110	
その他の営業収益/費用	△5	△24	△19		△2	△1,067	△1,066	
Core Earnings	912	539	△373	△ 40.9%	1,749	1,310	-439	△ 25.1%
為替影響*	△88	23	+111		△151	28	+180	
事業等の売却影響**	△242	△47	+195		△502	△104	+399	
実質的な Core Earnings	583	515	-68	△ 11.6%	1,096	1,235	+139	+ 12.7%

* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円 等)を適用し影響額を算出しています。

** 主に日本の長期収載品、呼吸器系疾患領域の製品、肥満症治療剤コントレブにかかる売却影響を表示しています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載している調整表をご参照ください。



当期利益から実質的なCore当期利益への調整

	15年度 第2四半期	16年度 第2四半期	増減		15年度 上期	16年度 上期	増減	(億円)
当期利益	298	248	△50	△ 16.9%	544	1,243	+699	+ 128.6%
EPS	38 円	32 円	△ 6 円	△ 16.6%	69 円	159 円	+ 90 円	+ 129.4%
無形資産の償却費および減損損失	208	312	+104		436	508	+72	
その他の営業収益/費用	16	△41	△57		22	△724	△746	
企業結合会計に係る影響の調整	38	15	△23		43	63	+20	
その他の非定常項目の調整	9	0	△9		36	△0	△36	
Core当期利益	568	534	△35	△ 6.1%	1,081	1,090	+9	+ 0.8%
Core EPS	73 円	68 円	△ 4 円	△ 5.8%	138 円	139 円	+ 2 円	+ 1.2%
為替影響*	△38	24	+62		△43	34	+77	
事業等の売却影響**	△173	△39	+134		△358	△109	+250	
実質的なCore当期利益	358	519	+161	+ 44.9%	680	1,015	+335	+ 49.3%
実質的なCore EPS	46 円	66 円	+ 20 円	+ 44.9%	87 円	130 円	+ 43 円	+ 49.3%

* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円 等)を適用し影響額を算出しています。

** 主に日本の長期収載品、呼吸器系疾患領域の製品、肥満症治療剤コントレブにかかる売却影響を表示しています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載している調整表をご参照ください。



2016年度マネジメントガイダンスの2015年度ベースライン

(億円)	5月10日	15年度	10月28日	15年度
売上収益		18,074	売上収益	18,074
為替影響*		△913	為替影響*	△913
テバ社との合弁会社への長期収載品の移管		△817	テバ社との合弁会社への長期収載品の移管	△817
呼吸器系ポートフォリオの売却		△207	呼吸器系ポートフォリオの売却	△207
コントレブの権利返還		△29	コントレブの権利返還	△63
実質的な売上収益		16,109	実質的な売上収益	16,075
営業利益		1,308	営業利益	1,308
製品等に係る無形資産償却費及び減損損失		1,318	製品等に係る無形資産償却費及び減損損失	1,318
その他の営業収益		△251	その他の営業収益	△209
その他の営業費用		444	その他の営業費用	444
その他		63	その他	63
Core Earnings		2,882	Core Earnings	2,924
為替影響*		△170	為替影響*	△170
売却(テバ社、呼吸器系ポートフォリオ、コントレブ)		△935	売却(テバ社、呼吸器系ポートフォリオ、コントレブ)	△953
実質的なCore Earnings		1,777	実質的なCore Earnings	1,801

* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円 等)を適用し影響額を算出しています。



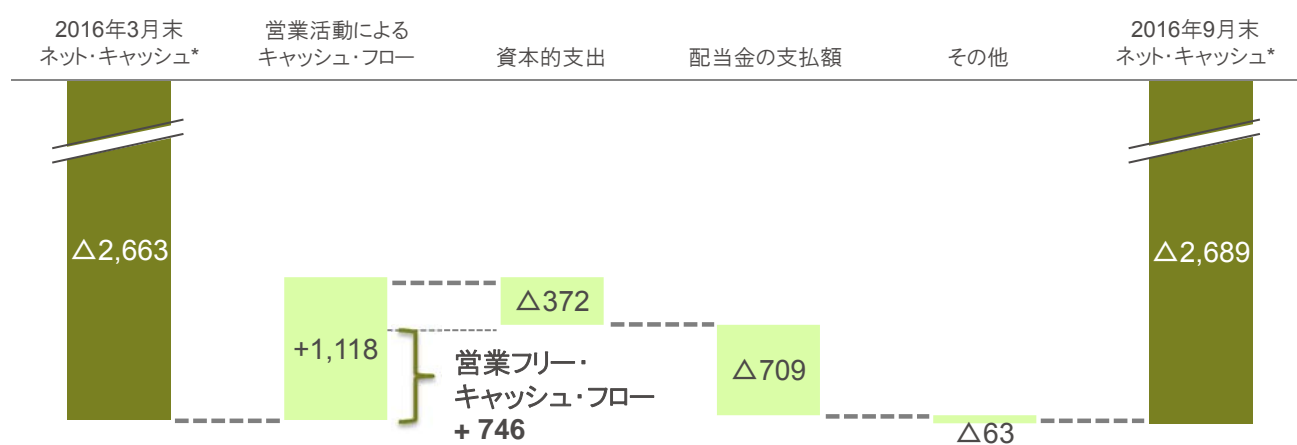
ネット・キャッシュ

武田薬品工業株式会社



配当金の支払額を上回る営業フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



* 現金及び現金同等物(期末から1年以内に決済予定の短期投資を含む)から為替レートをヘッジしたベースの有利子負債を控除して算定しています。



為替レート

武田薬品工業株式会社

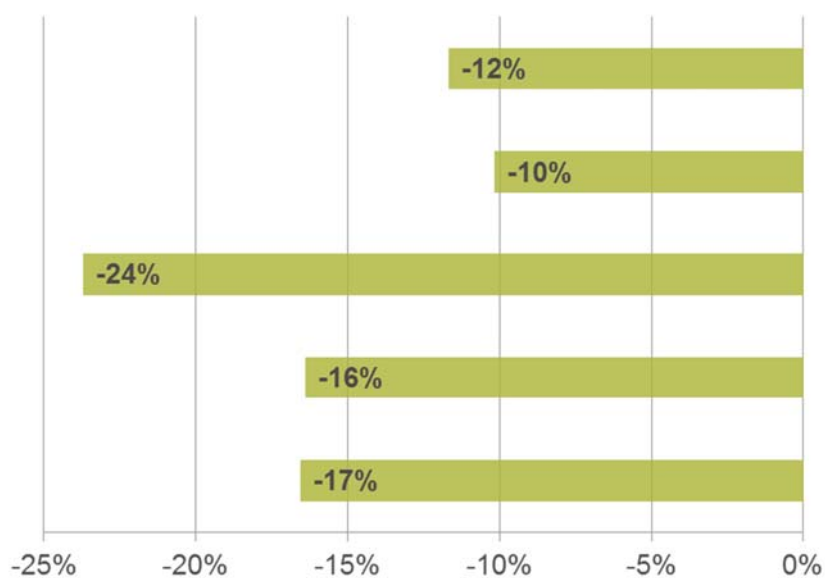


2016年度上期 平均為替レート

平均為替レート (円)*

	15年度 上期	16年度 上期
USD	121.91	107.68
EUR	134.16	120.53
RUB	2.14	1.64
CNY	19.54	16.34
BRL	37.88	31.61

対前年同期



*各月の前月末レートの平均



月次実勢レートおよび公表予想レート

(円)

実勢レート*	15年度					16年度				
	USD	EUR	RUB	CNY	BRL	USD	EUR	RUB	CNY	BRL
4月	120	130	2.1	19.3	37.2	112	127	1.7	17.4	31.2
5月	119	130	2.3	19.1	40.8	111	126	1.7	17.1	31.6
6月	124	136	2.4	20.0	39.2	111	124	1.7	16.9	31.1
7月	123	138	2.2	19.7	39.3	103	114	1.6	15.5	31.9
8月	124	136	2.1	20.0	36.8	105	117	1.6	15.7	32.0
9月	122	136	1.9	19.0	34.0	103	115	1.6	15.4	31.8
平均	122	134	2.1	19.5	37.9	108	121	1.6	16.3	31.6

*各月の前月末レートを適用

(円)

公表予想レート	16年度				
	USD	EUR	RUB	CNY	BRL
10-3月平均	101	113	1.5	15.1	31.1
4-3月平均	104	117	1.6	15.7	31.3

Better Health, Brighter Future

